

東京市況

	始値	高値	安値	終値	政策金利
米ドル・円	82.92	83.30	82.77	82.90	米国 0-0.25%
ユーロ・円	110.81	111.12	110.59	110.80	日本 0-0.10%
ユーロ・ドル	1.3356	1.3375	1.3333	1.3360	ユーロ圏 1.00%
ポンド・円	132.77	133.22	132.52	132.90	英国 0.50%
豪ドル・円	86.62	86.72	86.17	86.30	豪 4.25%
NZドル・円	68.33	68.35	67.92	68.10	NZ 2.50%
カナダ・円	83.24	83.54	83.06	83.10	カナダ 1.00%
スイス・円	92.02	92.27	91.81	92.00	スイス 0-0.25%
ランド・円	10.86	10.87	10.80	10.85	南ア 5.50%
香港ドル・円	10.66	10.71	10.63	10.65	香港 0.50%
日経平均株価	10161.72	10190.35	10109.87	10109.87	
原油価格先物	103.27	103.58	103.04	103.16	
上海総合株価	休場	休場	休場	休場	
中国人民幣元	休場	休場	休場	休場	中国 (貸出)6.56%

東京市場概況

2日の東京外為市場のドル・円は強含み、82円77銭から83円30銭まで堅調推移。ドル・円は、3月調査の日銀短観で大企業製造業DIが-4で12月調査と変わらずだったことで、日本銀行による追加金融緩和観測が台頭し、83円30銭まで強含みに推移した。しかしながら、83円50銭のドル売りオーダーで上げ渋る展開となった。ユーロ・ドルは弱含み、1.3375ドルから1.3333ドルまで軟調推移。ノルウェー政府系投資ファンド(SWF)によるユーロ圏投資比率引き下げ報道、1.3400ドルのオプション・トリガーの防戦売りで上げ渋る展開となった。ユーロ・円は強含み、110円59銭から111円12銭まで堅調推移。

経済指標

- ・日・日銀短観3月調査：大企業製造業DI-4、6月予測-3、大企業非製造業DI+5、6月予測+5(予想：大企業製造業DI-1、大企業非製造業DI+5、12月調査：大企業製造業-4、大企業非製造業4)2012年度大企業製造業の想定為替レート：1ドル=78円14銭
- ・中・3月PMI製造業(1日発表)：53.1(予想50.5、2月51.0)
- ・韓・3月PMI製造業：51.96(2月50.72)
- ・韓・3月消費者物価指数：前年比+2.6%
- ・豪・2月住宅建設許可件数：前月比-7.8%(前月比予想+0.5%、1月+0.9%)

本日の予定

- ・18:00 ユーロ圏・2月失業率
- ・23:00 米・2月建設支出(前月比予想：+0.8%、1月-0.1%)
- ・23:00 米・3月ISM製造業景況指数(予想：53.0、2月52.4)
- ・カーニーカナダ中銀総裁が講演予定

要人発言

- ・野田首相
「物価安定の目途という目標設定に基づいて日銀には努力いただけと思う」
- ・米格付け会社ムーディーズ
「韓国の格付け「A1」の見通しを「ポジティブ」に変更」
- ・韓国軍高官(東亜日報)
「韓国軍は、ソウルや首都圏で北朝鮮の攻撃による被害が出た場合、即座に平壤を報復攻撃する計画を立てている」

欧米市場オープニングコメント

「日銀短観の下振れと首相発言で一段の追加緩和期待」

きょう2日の欧米市場では、日本銀行(日銀)の追加緩和観測を受けた円売り基調が強まる中、米3月のISM製造業景況指数を見極める展開が想定される。

ドル・円は日本と米中による景況感の格差、日銀の追加緩和観測の高まりを受けて、底堅い推移となっている。一時は83円30銭まで上昇し、3営業日ぶり83円台を回復した。

日銀が2日発表した3月調査の日銀短観では、大企業の非製造業業況判断が改善された一方で、製造業は市場予想を下回り、前回11年12月から横ばいとなった。円高修正や株式市場の持ち直しが進むも、原油の高騰など懸念材料も多く、企業の慎重姿勢が示された。

前週末の3月30日に米国が発表した2月の個人消費支出(PCE)は、7ヵ月ぶりの大幅な上昇となったことに加え、同日発表のミシガン大学消費者信頼感指数(確定値)は、速報値から上方修正されて7ヵ月連続の拡大を記録。また、きのう1日に発表された中国の3月製造業PMIは1年ぶりの高水準を示した。そのため、世界的な回復期待に対する日本の出遅れ感が一段と際立つ状況になっている。

きょう2日のNYタイムでは、米国3月のISM製造業景況指数が発表される。市場予想通り前月からの改善が示された場合は、日本との景況感の格差が一段と広がり、円売りドル買い基調を後押しするとみられている。ただ、先行性のある同指標内訳の「新規受注DI」は2月に54.9と1月57.6から鈍化。また、既公表の3月の各地区連銀指数は、NY、フィラデルフィアで改善を示したものの、ダラス、リッチモンド、カンザスシティで落ち込んだ。そのため、コンセンサスには下振れリスクに留意する必要がある。予想を下回った場合は円売りドル買い基調の巻き戻しが一時的に強まる可能性がある。

来週9-10日には日銀金融政策決定会合が開催されるが、日銀短観への失望と野田首相発言「物価安定の目途という目標設定に基づいて日銀には努力いただけと思う」が日銀への圧力になるとの見方から、追加金融緩和への期待が一層強まる展開となっている。もちろん、6日に発表される米3月の雇用統計への警戒は必要だが、まずは日銀の追加緩和観測を受けた円安基調が優勢となりそうだ。

通貨別分析

ファンダメンタルズ分析		テクニカル分析		
米・政策金利 0-0.25%		GDP(Q4) +3.0%		
買い材料	・円売り介入枠 195兆円へ増額: 覆面介入継続の可能性	一目均衡表	買い継続	@ 78.42 円
	・原子力発電所稼働率低下⇒原油輸入増加観測	RSIma	売り継続	@ 83.30 円
	・日銀: インフレ目途(消費者物価指数+1.0%)	MACD	売り継続	@ 82.54 円
売り材料	・FRB: 2014年終盤まで低金利政策(0.0-0.25%)継続	ストキャスティック	買い継続	@ 82.85 円
	・米国: 財政赤字拡大⇒米国価格下げ(S&P:「AAA」⇒「AA+」)			
	・中国人民元切り上げ観測			
日本・政策金利 0-0.10%		GDP(Q4) -0.7%		
買い材料	・欧州銀行資本増強&ギリシャ第2次金融支援(1300億ユーロ)	一目均衡表	買い継続	@ 101.00 円
	・スイス国立銀行(SNB): 無制限ユーロ買い・スイスフラン売り介入	RSIma	売り継続	@ 108.97 円
売り材料	・ユーロ圏(PIIGS): 緊縮財政措置で景気後退	MACD	売り継続	@ 108.97 円
	・ドラギ欧州中銀総裁: 景気後退懸念で追加利下げ示唆	ストキャスティック	買い継続	@ 109.80 円
欧・政策金利 1.00%		GDP(Q4) +0.7%		
買い材料	・欧州銀行資本増強&ギリシャ第2次金融支援(1300億ユーロ)	一目均衡表	買い継続	@ 1.3320 ドル
	・ユーロ圏救済基金: 7000億ユーロ	RSIma	買い継続	@ 1.3240 ドル
	・スイス国立銀行(SNB): 無制限ユーロ買い・スイスフラン売り介入	MACD	買い継続	@ 1.3215 ドル
売り材料	・ユーロ圏諸国: 緊縮財政措置⇒景気後退懸念	ストキャスティック	買い継続	@ 1.3239 ドル
	・ギリシャに対する第3次支援観測浮上			
	・ドラギ欧州中銀総裁: 景気後退懸念で追加利下げ示唆			
豪・政策金利 4.25%		GDP(Q4) +2.3%		
買い材料	・米国の景気回復、雇用環境の改善期待	一目均衡表	売り継続	@ 85.40 円
	・トリプルA格付け&相対的な高金利通貨	RSIma	売り継続	@ 87.10 円
売り材料	・豪準備銀行: 現状の金融政策は中立	MACD	売り継続	@ 87.75 円
	・ステューブンス豪準備銀行総裁: 為替介入しないとは言っていない	ストキャスティック	売り継続	@ 87.80 円
英・政策金利 0.50%		GDP(Q4) +0.5%		
買い材料	・日本銀行による円売り介入	一目均衡表	買い継続	@ 120.00 円
	・スイスのタックスヘイブン規制⇒英ポンドへの資金還流の可能性	RSIma	売り継続	@ 132.20 円
	・欧米のソブリン・リスクからの逃避⇒英国債への需要	MACD	売り継続	@ 130.58 円
売り材料	・英国価格下げ懸念・英国リセッション(景気後退)懸念	ストキャスティック	買い継続	@ 131.59 円
	・キング・イングランド銀行総裁: 低金利政策継続は適切			
	・英中銀: ポンド安は英製造業の競争力向上に寄与			
NZ・政策金利 2.50%		GDP(Q4) +1.8%		
買い材料	・イングリッシュNZ財務相: 2014/15年までに財政黒字化	一目均衡表	買い継続	@ 59.40 円
	・中国経済の成長持続に対する期待感	RSIma	売り継続	@ 68.20 円
売り材料	・ニュージーランド格下げ: AA+ ⇒ AA (フィッチ・S&P)	MACD	売り継続	@ 67.99 円
	・NZ準備銀行総裁&首相: NZドル高懸念	ストキャスティック	買い継続	@ 67.40 円
加・政策金利 1.00%		GDP(Q4) +1.8%		
買い材料	・6主要中銀流動性供給措置強化(2013年2月)	一目均衡表	買い継続	@ 76.20 円
	・カーニー・カナダ中銀総裁: インフレ懸念	RSIma	売り継続	@ 83.90 円
売り材料	・カナダ中銀: GDP見通し下方修正	MACD	売り継続	@ 82.62 円
	・カーニー・カナダ中銀総裁: 利上げの必要性は後退	ストキャスティック	売り転換	@ 83.10 円
スイス・政策金利 0-0.25%		GDP(Q4) +1.3%		
買い材料	・地政学的リスク回避	一目均衡表	買い継続	@ 83.80 円
	・欧米の景気減速・ソブリン・リスク回避	RSIma	売り継続	@ 90.37 円
売り材料	・スイス国立銀行: 1ユーロ=1.2スイスフランの水準は変更せず	MACD	売り継続	@ 90.37 円
	・スイス国立銀行: スイスフラン高阻止のため政策金利引き下げ0.00-0.25%	ストキャスティック	買い継続	@ 91.20 円
南ア・政策金利 5.50%		GDP(Q4) +3.2%		
買い材料	・格付け会社: 格付け見直し引き上げ	一目均衡表	買い継続	@ 9.50 円
	・南アフリカ中銀: インフレ見直し上方修正、必要なら物価圧力沈静化へ	RSIma	買い転換	@ 10.85 円
売り材料	・対外投資上限を5%引き上げ25-35%へ	MACD	売り継続	@ 10.68 円
	・デービス南ア貿易産業相: ランドは過大評価されている	ストキャスティック	売り転換	@ 10.85 円
香港・政策金利 0.50%		GDP(Q4) +3.0%		
買い材料	・財政黒字・対外純資産・低失業率・格上げ	一目均衡表	買い継続	@ 10.12 円
	・中国外貨準備の多様化&中国人民元ペッグへ移行の可能性	RSIma	売り継続	@ 10.70 円
売り材料	・国際通貨基金(IMF): 資産バブルのリスクを警告	MACD	売り継続	@ 10.63 円
	0	ストキャスティック	買い継続	@ 10.66 円

重要事項(ディスクレーム)

- 株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪証券取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。
- “JASDAQ INDEX”の指数値および商標は、株式会社大阪証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。
- 掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容および情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものでもありません。
- 本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告無く変更する場合があります。
- 本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。
- フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。
- 本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。
- 本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大することを保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。
- フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。
- 投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ